

2023年度 第37回宮城県選手権（短水路）水泳競技大会

二 次 要 項

(一財) 宮城県水泳連盟

<期 日> 2024年2月24日(土)・25日(日)

<会 場> セントラルスポーツ宮城G21 プール サブプール (8レーン仕様)

I 競技上の注意事項及び要望事項

1. (公財) 日本水泳連盟競泳競技規則 2023年度に準ずる(全自動審判装置使用)
2. プログラムに記載してある注意事項及び要望事項を参照のこと。
3. アマチュア規定に反する商標入り水着・ユニフォーム等の着用についての注意事項は、プログラムに記載されている、あるいは日本水泳連盟ホームページに掲載されている「大切なことですから、本欄を読んで必ず守ってください」で確認し、遵守すること。
4. プール仕様
 - サブプール短水路1～8レーンまでの8レーン設定。
※アップ・ダウン時のみ1～4レーン女子専用、5～8レーンを男子専用とする。
 - 全自動審判装置。バックアップはグリップスイッチを使用。
 - タッチ板の有効面をしっかりとタッチすること。※ゴール後は速やかに退水すること
 - 水深は、1. 4m 水温 28℃、室温 30℃に設定。

5. 競技について

- 競技について予選・決勝を行う。予選同タイムの場合は、スイムオフを行わない(抽選にて決定する)

6. 公式スタート練習は、

両日	3～6レーン	7:00～ 7:20	<u>※アップ時間 6:30～ 7:20</u>
	// レーン	7:50～ 8:10	<u>※アップ時間 7:25～ 8:15</u>

※スタート台側からの一方通行とする。

※スタート練習をする際は、危険防止のために必ず指導者が付き添うこと。

※公式スタート練習の使用レーンは3～6レーンを使用する。(スタート専用レーンは設置しない)

7. スタート前の着水は、各レーンに設置されたバケツを使用する。
※自レーンでの着水をする場合は、競技中は行えない
8. 予選競技における背泳ぎ種目以外は「オーバー・ザ・トップ方式」で競技を行う。
9. 背泳ぎ種目でバックストロークレッジを設置する。使用しない選手は自レーンに入場後担当の折返監察員に伝えること。
10. レース後の退水は、自レーンから行うことを原則とするが、横からの退水を審判長および競技役員が許可した場合は横から行う場合もある。

11. 招集は、概ね、5組前（または10分前）から招集所で行う。競技の進行状況に留意しながら、遅れないようにするのはもちろんのこと、密集を避けるために、あまり早く招集所に来ることのないようにもすること。
12. 棄権・訂正がある場合は、棄権・訂正用紙に記入し、競技開始1時間前までに招集所に届けること。
13. 水着はFINA公認の水着を着用すること。承認マークの確認を行う。なおマークの剥がれが生じた場合は、水着の製造番号を記載した用紙を招集所に提出すること。
14. **各競技間の選手紹介は行わない。**
15. 記録・競技結果（ランキング）については、2階速報板に掲示する。
16. テーピングを行っての競技出場は原則認めない（緊急の場合のみ審判長の許可が必要）。
17. 競技に関する抗議や問い合わせは、選手や保護者は直接できないので、所属チームの責任者を通して行うこと。
18. 表彰について
 - 賞状は各種目3位まで授与し、**表彰式は行なわない。**
 - 男子優秀選手、女子優秀選手、最優秀選手を各1名選出**する。
※選考基準は決勝タイムの19歳以上の日本水泳連盟資格級によることを原則とする。
※発表は、県水連ホームページに掲載する
 - 賞状は、競技終了後に大会議室机の上に置くので、各チームで忘れずに持ち帰る。
記録証は事前に配布し、賞状を持ち帰らなかったものについて郵送することはしない。

II 開門・練習時間について

本大会は、選手、監督・コーチ、競技役員、大会関係者のみの入館とする。

1. 開門（開場前の館内立ち入り禁止）
 - 開門時間 **6:20～ 一斉入場**
 - 入場は1F出入口**とする。
※入場の前に、各チームで検温を行ってもらおう。
2. ADカードについて
 - 「選手用」「引率監督コーチ用」「競技役員用」「保護者用」を発行する。ADカードを所持していない者は入館できない（一度館外に出た後も）。館内では常に首から下げて身に付けておくこと。選手は、招集の際にも所持していること。
3. ADカード配付の仕方
 - 2/23（金）の代表者会議で配付する。（入場前に両面を記入させるようにする。）
ADカード裏面の健康チェック表は、当日入場までに事前に記入すること。
 - 競技役員のADカードは大会当日に受付で配付、裏面の健康チェックも記入してもらう。
※ADカードの不正使用があった場合は、個人あるいはチームに対し、厳重に対応する。
※各チームの責任者は、選手への感染症対策の周知徹底について責任を持って行うこと。
入館時にトラブルが発生した場合は、各チームの責任で対応すること。

4. サブプール使用上の注意

- パドルやチューブを使ったウォーミングアップは禁止する。
- フィン・シュノーケルについては周囲の安全に十分に配慮し使用可とする。なお、安全のため競技役員から用具の使用中止を指示された場合はその指示に従うこと
- サブプールでの飛び込みは危険防止のため一切禁止（入水時も）する。

- | | |
|-------------|--|
| 5. 主任者会議 | 7:30 より（記者室） |
| 6. 競技役員全体会 | 8:00 より（大会議室） |
| 7. 開始式 | 8:40 <u>※入場・退場は行わない（8:40 までに各部署着座）</u> |
| 審判長・出発合図員紹介 | 8:43 |
| 8. 競技開始 | 1 日目 8:45 より 2 日目 8:45 より |

Ⅲ 会場利用上の注意

1. 選手の送迎の際、乗り降りは駐車場で行うこと。路上では厳禁とする（渋滞や事故の防止）
※コンサートのため、第二駐車場（プール駐車場のみ）を使用すること
【駐車の際は、必ず駐車許可証を見える位置に準備してください】
【駐車許可証のない車は、駐車できません】
※満車の場合は、競技役員用の駐車場を使用しても良い。
2. 場内指令の係やプール関係者の指示に従うこと。
3. 選手の控え所はスタンド裏側通路とし、参加チームごとに割り当てを行う。
4. 保護者入場のための入口は開放するが、その他控え所のドアを開け、外への出入りは絶対に行わないこと。
※特に、コンサートがあるため2F控え場所のトイレなどを使用するために一般の方の入場する場所があるので、絶対に鍵をかけておくこと。
5. 競技終了後は、各チームで使用した場所を掃除・ゴミなどは持ち帰ること。
6. 更衣室内の休憩場所としての使用は厳禁とする。
7. 2F 観覧席（監督・コーチ・マネージャーのみ）を利用する際は、譲り合って使用すること。また、荷物・メガホン・名札等による席の占有やスタンドでの飲食は禁止する。
8. 1・2階ホールを水着のまま歩き回ったり、館内を濡れた足・体にて歩かないこと。
9. 立入禁止区域内に入らないようにすること。館内の施設や備品（機械・火災報知器・消火器等・更衣室のドア等）については絶対にいたずらなどしないこと。破損させた場合には個人の責任として弁償することになる。
10. 参加選手の健康管理とけがのないように十分注意すること。また、大会本部に看護師が常駐している。
11. 忘れ物については、1週間保管し、その後処分する。
12. 1階入り口でプログラムを600円で販売する。（保護者等の購入も可）

Ⅳ 会場設営・代表者会議・撤去

1. 会場設営

- **2月23日(金)午後6時00分**より会場設営を行う。各チームから1~2名(中学生以上)参加すること(大会参加要件。1人1,000円手当支給)。けが防止のため上履き持参のこと。また、**サブプール1レーン側にある赤台の撤去作業があるので、学生委員会を中心に可能な限り協力(水着に着替えての作業)いただきたい。**
- 会場設営終了後のサブプールの練習開放は、感染防止のため行わない。
- タッチ板は、毎朝の開門前に設置するので、引率や監督コーチ方々の協力をお願いしたい。

2. 代表者会議

会場設営終了後、ただちに、大会議室にて代表者会議を開催する。
この二次要項を持参すること。

※同意書について…日にちごと1枚ずつ提出すること

3. 撤去作業 2月25日(日)競技役員打ち合わせ(終礼)後

Ⅴ その他

1. 以下の状況になった場合、大会中止の判断を行う。

地震やその他災害等で、大会開催が困難と思われる状況が発生した場合

なお、中止を判断した際は、参加申込の際に入力されたメールアドレスに連絡する。

2. 【感染症への対応について(ガイドライン)】※プログラム記載

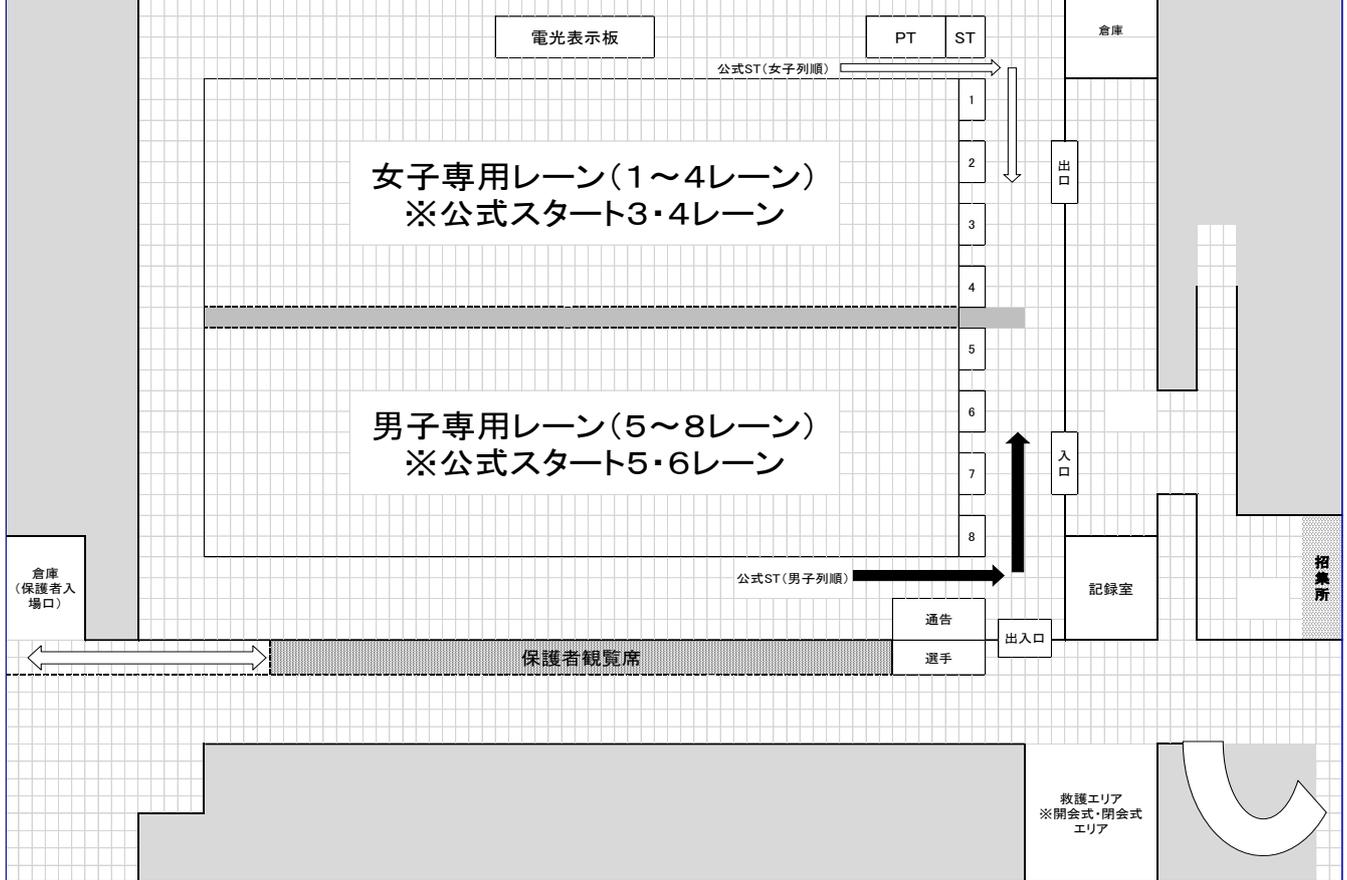
《選手のみなさんへ》《監督・コーチのみなさんへ》《競技役員のみなさんへ》

各チームはプログラムを熟読し厳守するように指導すること。

3. 報道取材、写真業者の入館もできないので、各チームに依頼があった際は断ること。

4. プール会場外の立ち入り禁止エリアへは絶対に進入しないこと(落雪の危険有り!)

総合プール(サブプール) 会場図 2F 【第37回宮城県短水路選手権大会】



総合プール(第二駐車場)会場図 【第37回宮城県短水路選手権大会】

